投資判断

備考

【1】 IPO フェーズ

・運用者の力量・パフォーマンスや、SPACの制度設計における工夫や優位性等、ファンド投資的側面を有する

・IPO価格は 1ユニット=10ドルでの設定が多い
 ・主に機関投資家等(個人投資家の参加は僅少)

【2】 Search & Negotiation フェーズ

・IPOフェーズと類似
 ・買収が近づいているとみられるSPACや著名な運用者等がスポンサーの場合、市場参加者が優良なディールを期待し IPO価格に対してプレミアム（同時に下値リスクも膨らむ） で取引される傾向

・個人投資家は、Search&Negotiationフェーズでの参加
 ・買収完了期限（2年）までに買収が完了されない場合は、1ユニット当たり、IPO相当額で資金返還を実施

【3】 De-SPAC フェーズ

・被買収先企業の ファンダメンタルズを織り込んだ動きに近づき、企業価値に基づく評価が可能
 ・通常の株式投資に近い性質を持つ

・投資家は以下の選択によるイグジット可能
 ①保有ユニットの買取請求権を行使し、IPO相当額での資産返還
 ②市場でユニットを直接売却し投資をイグジット
(IPO価格相当での買取請求が可能ため下限が限定され上昇時の売却機会を享受)

【4】 Operations フェーズ

・通常の株式投資と同様の性質を持つ